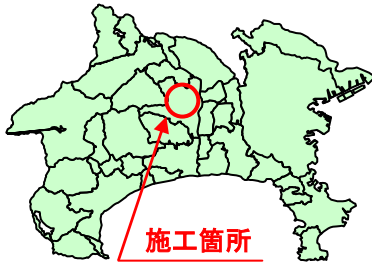


地すべり事業(田代地区)の効果について

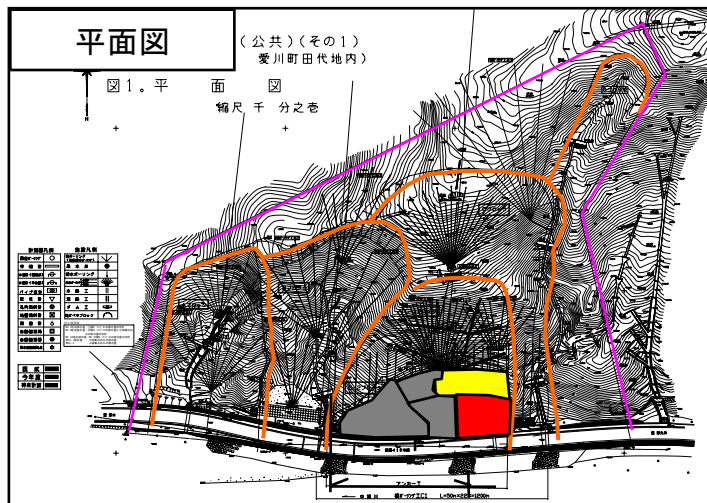
重要交通網等の保全対策の推進について

〈神奈川県愛甲郡愛川町田代地先〉



施工箇所

本区域は、神奈川県北部、相模川支流中津川沿いの愛川町田代地区に位置し、中古層を基盤とする破碎帯地すべりである。平成元年度から活発化した地すべりにより、国道412号線の道路擁壁、歩道等の変状が著しくなったため、平成2年度より調査を開始し、対策を進めている。区域内には中央高速道路と東名高速道路を結ぶアクセス道路でもある国道412号が存在しており、地すべり末端部の道路擁壁の倒壊等により、著しい被害が生じる可能性がある。



重要交通網である国道412号等が保全され、広域的な物流の遮断等、社会経済的に極めて重大な被害の発生防止に貢献している。



国道412号

